

第62期 報告書

平成30年2月1日～平成31年1月31日
(証券コード:7956)

CONTENTS

- P.01 トップインタビュー
- P.03 事業のご紹介
- P.05 世界各国の育児事情
- P.06 世界のピジョンからこんにちは！
- P.07 当連結会計年度の経営成果
- P.08 主な経営指標
- P.09 トピックス、会社概要
- P.10 株式の状況など

公益社団法人 発明協会
第40回 未来の科学の夢絵画展

幼稚園・保育園の部 優秀賞

『気持ちわかるカメラ』

めばえ幼稚園(広島県)

田房 殊明さん





代表取締役社長

北澤憲政

代表取締役会長兼
取締役会議長

山下 茂

Q. 4月より社長が交代し新体制がスタートします。新体制下で大きく変えていく点や、従来通りの方針を続けていく点などについて聞かせてください。

山下 新体制に先立ち1月16日付けで組織変更を行いました。本社機能を、グループ全体を統括するグローバルヘッドオフィス(GHO)として位置づけて機能の集約・強化を図ると共に、事業部門を地域別に、日本事業(国内ベビー・ママ事業、ヘルスケア・介護事業、子育て支援事業)、中国事業、シンガポール事業、ランシノ事業の4事業部としました。今後は4事業部への権限委譲を進め意思決定をより迅速化すると同時に、全体最適の視点からGHOでグリップを握っていくのが狙いです。今回の組織変更では、ピジョンのコア・コンピタンスである開発機能も見直しました。基礎研究に基づく開発機能は今後も国内が中心となりますが、消費者インサイトを活用する商品企画機能については、各地域の消費者に近づけるべく、4事業部の各マーケティング部門との統合を図っています。

北澤 ビジネスのスピードは世界的に加速しています。特に米国・中国では、さまざまな分野において、スタートアップ企業がつくりあげた商品がインターネット販売によって瞬く間に市場を席捲している状況が起きています。商品企画・開発を含め、さまざまな意思決定を日本に委ねているのでは間に合いません。各国の需要は日本からは見えません。個々の市場で素早く判断し対応する組織にしておくこと、これが新組織の狙いです。一方で、「Pigeon Way」を拠り所とする経営や、株主・投資家の皆様をはじめとするステークホルダーとのコミュニケーションの在り方については、これまで通りの方針を継続していきます。

山下 「Pigeon Way」についても理念の言語化は完了しました。しかしこれは「Pigeon Way 1.0」です。中心となる経営理念や社は不変でも、例えば基本となる価値観や行動原則の部分は、時代と共に変えていく必要も出てくるかと思います。今ある「Pigeon Way」を神棚に祀り上げて形骸化させるのではなく、「Pigeon Way 2.0」へと進化させていって欲しいと思います。

Q. 当期業績を踏まえた上で、今後の成長性のイメージを教えてください。

山下 当期は、国内ベビー・ママ事業、シンガポール事業の販売実績は好調に推移しましたが、中国事業、ランシノ事業での伸長がやや鈍化したこともあり、売上高は前期比2.1%増の1,047億円となりました。利益面では、売上原価率が前期比2.1ポイント改善した反面、販管費率が増加したことで、営業利益は同1.0%増の196億円、経常利益は同1.3%増の203億円、また前期のPT PIGEON INDONESIA子会社化に伴う特別利益計上の影響もあり、親会社株主に帰属する当期純利益は同1.9%減の142億円と、課題の残る結果となりました。

現在、当社の時価総額は5,000億円台(2019年3月22日現在)となっていますが、これはさらなる飛躍に向けた通過点でしかありません。当社の成長を牽引している中国では、当期こそ売上の成長率は現地通貨ベースで一桁台に留まりましたが、来期は再び二桁成長となるよう商品開発力の強化および商品戦略・マーケティング戦略を確実に実行していきます。ランシノ事業においても、中核となる北米地域の販売強化に加え、欧州、そして成長著しいアジア地域での拡大に期待しています。ここにシンガポール事業が推し進めている新興市場での成長を加えていけば、今後も十分成長を続けていけると確信しています。

北澤 成長のスピードについては、これまで通りの計画に沿って考えていきます。まずは第6次中期経営計画の最終年度である2019年は、中計策定当初の売上高目標1,100億円(決算期変更後1,062億円)の確実な達成と、その後の成長につながる強固な土台作りを目指します。その上で、2020年以降の持続的な成長を実現していくことにより、今中計当初にイメージした、売上2,000億円台到達という大きな目標に向かって進んでいきます。過去12年間のピジョンの成長を最も牽引してきたのが海外展開です。市場を見れば、依然として豊富な需要が見込めます。当面の重点市場にはインドとインドネシアを掲げていますが、インドは年間約2,600万人、インドネシアは年間約500万人の出生数と言われており、年間100

万人以下の日本と比較しても、この2カ国が非常に大きく魅力的な市場であることがわかります。これらに加えて、バングラデシュやパキスタンなど、他の新興市場にも参入していけばさらに伸びることは間違いありません。海外で成長してきた実績、そして未来の有望な市場を前に、社員も皆、より一層の成長に自信を持って取り組んでいます。

Q. 社長交代に当たって、山下社長には
在任中のレビューと新社長への期待を、
北澤新社長には抱負を聞かせてください。

山下 おかげさまで社長在任中の6年間、業績や時価総額はおおむね順調に拡大を続けることができました。また在任中に「企業価値向上表彰（東京証券取引所）大賞（2015年度）」や「ポーター賞（2016年度）」、「IR優良企業賞（2018年度）」など、社外の方から当社をご評価いただく機会にめぐまれたことも、大変ありがたく思っています。当然のことな

がらこれらは私一人で成し得たものでは決してなく、ピジョングループというオーケストラが、指揮棒を振る私の描くとおりに奏でてくれた結果です。こうした評価できる点がある一方で、例えば人事制度改革など、在任中に成し遂げきれなかった部分も多くあります。そこはきちんと引き継いでより良き方向へと導いていてもらいたいと思います。「変化」と「スピード」は、北澤の一番の強みです。その強みを活かした思いきりのよいスピーディな経営を期待しています。

北澤 長い間、海外で仕事をしてきて、スピードある経営の重要性を骨身にしみて感じてきました。今後さらにピジョンの経営スピードアップを図って、より良い会社にしていきたいと思っています。私の考える良い会社とは、ブランド力があり、売上也継続的に増加していて高収益であるだけでなく、多くの社員の目がキラキラと輝いているような会社です。赤ちゃんが使う商品なので、安全性の確保は絶対条件ですが、モノづくりのメーカーとして、自由な発想の中で、お客様のニーズに応えるユニークな商品を次々に生み出していけるよう

にしたいと思います。新組織下の4つの事業部からそうした商品が数多く生まれ、事業部同士が相互に刺激し合って相乗効果を高めていければ良いと思います。

Q. 株主の皆様にはメッセージをお願いします。

山下 株主の皆様への1株当たり配当金は、前期末比2円増配の68円とさせていただきます。ピジョンはこれからもどんどん新しいことにチャレンジを続けてまいります。新体制下でも引き続き皆様からのご支援をよろしくお願い申し上げます。

北澤 世界中の赤ちゃんのご家族に、喜びや幸せ、感動をもたらすという使命を果たすことで、株主・投資家の皆様にもお喜びいただける経営を続けていきます。引き続き皆様からのサポートをよろしくお願い申し上げます。

Pigeon Way

経営理念は「愛」
社是は「愛を生むは愛のみ」

Pigeon Wayとは

Pigeon Wayは、私たちの
“心”と“行動”の拠り所であり、
すべての活動の基本となる考え方です。



● 経営理念

—強く信じる経営の根本の考え
「愛」

● 社是

—経営理念を端的に表現したもので、各人が仕事をする際に
いつも大切にし、同時に振り返るためのもの
「愛を生むは愛のみ」

● ビジョン

—目指す理想の状態、到達したい姿
世界中の赤ちゃんのご家族に最も信頼される
育児用品メーカー“Global Number One”

● 使命

—どのような形で社会に貢献するのか、
また、何のために働くのかを約束するもの
「愛」を製品やサービスの形にして提供することによって、
世界中の赤ちゃんのご家族に
喜び、幸せ、そして感動をもたらすこと

● 基本となる価値観

—社員一人ひとりが大切にすること

◆ 誠実

(Integrity)

◆ コミュニケーション・納得・信頼

(Communication, Consent, Trust)

◆ 熱意

(Passion)

● 行動原則

—我々のすべての行動のベースとなり、ガイドとなるもの

◆ 迅速さ

(Agility)

◆ 瞳の中にはいつも消費者

(Keep sight of consumers)

◆ 強い個人によるグローバルコラボレーション

(Global collaboration among competent individuals)

◆ 主体性と論理的な仕事の仕方

(Leadership and logical working style)

◆ 積極的な改善・改革志向

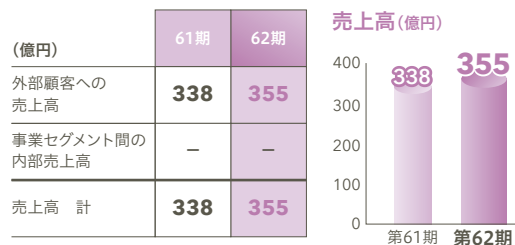
(Willingness to change)

国内ベビー・ママ事業

- ◆哺乳関連用品
- ◆女性ケア用品
- ◆離乳関連用品
- ◆その他ベビー、ママ関連用品
- ◆スキンケア用品
- ◆ベビー大型用品

● 事業環境と当社の強み

2018年の日本における出生数は92万1,000人(厚生労働省「平成30年(2018)人口動態統計(推計数)の概況」と、前年の94万6,065人から約2万人減少しました。そのような中、半世紀にわたる哺乳研究や乳幼児発達研究を基に、赤ちゃんの成長過程を深く掘り下げ、育児の“お困りごと”を見出すことから開発した多数の高品質な商品を生み出してきたところに、ピジョンブランドの優位性があります。ピジョンブランドは、業界でのリーディング・カンパニー、そして極めて強いリーディング・ブランドとして広く認知されています。さらに、今後はベビーカーを中心とした大型商品にも注力し事業を拡大していきます。



子育て支援事業

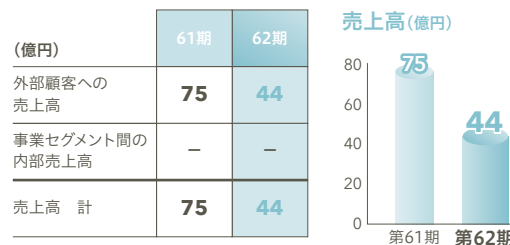
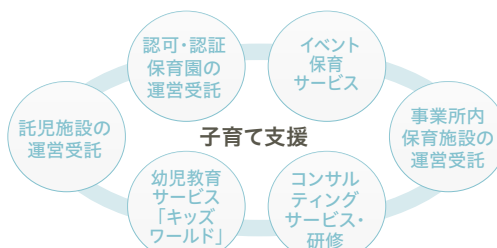
- ◆保育サービス
- ◆イベント保育サービス
- ◆事業所内保育運営受託
- ◆幼児教育サービス
- ◆託児

● 事業環境と当社の強み

子どもは欲しいが働き続けたい、育児をしながら復職したいという女性は増加しており、当社への期待、果たす役割も大きく、子育て支援事業の展開には追い風が吹いています。

育児用品で培った「安全・安心・信頼」のピジョンブランドのもと、「子どもの育ちを第一に」との考えに沿って本事業を推進し、質の高いサービス提供により、皆様から信頼を得ています。

2018年3月に独立行政法人国立病院機構における院内保育の一括受託契約が終了しています。今後もサービス内容の質的向上を図っていきます。

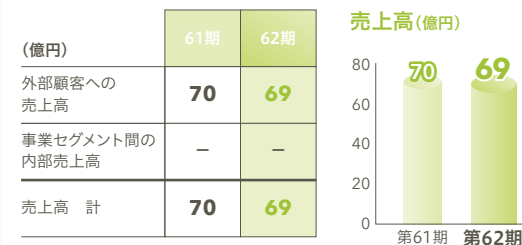


ヘルスケア・介護事業

- ◆介護用品
- ◆老化予防用品
- ◆介護支援サービス

● 事業環境と当社の強み

総人口が減少する中で急速に高齢化も進み、団塊の世代(1947年から1949年に生まれた世代)が65才以上となった2016年には、高齢者人口は3,514万人(総務省統計局)、総人口に占める高齢者の割合を示す高齢化率は27.7%と、4人に1人以上が高齢者という時代になりました。増え続ける介護給付費用に対し、国の介護制度も、介護保険の自己負担の増加や特別養護老人ホームへの入居条件の引き上げなど、介護の形態を施設から在宅介護へとする方針の具現化が進んでいます。これらを背景に、市場規模は着実に拡大しており、当社は引き続き、競争優位性のある新商品投入や介護サービスの品質向上などの施策を徹底していきます。



中国事業



◆ベビー、ママ関連用品

展開エリア

中国、韓国、台湾、香港、フィリピン、ロシア 他

●事業環境と当社の強み

ピジョンは、2002年の中国市場への本格的参入以来、商圈を沿海部から中国全土へ拡大してきました。年間出生数が1,500万～1,700万人で日本の15～17倍といわれている巨大市場の中で、いわゆる「新富裕層」と呼ばれる世帯を主要ターゲットに、哺乳器・乳首、トイレタリー、高級スキンケア商品を中心に新しいライフスタイルの提案を実施しています。また、現地に根づいているパートナー企業の販売網を通じてピジョンブランドの認知・浸透を図ってきたことで、ピジョン商品の品質とブランドは極めて高い評価を得ています。中国ではすでに500種類以上の商品を市場に展開しており、沿岸主要都市部では新富裕層の増加による高級志向の需要に応じて、さらに高価格帯の商品を提供しています。中国経済の成長率の鈍化は見られるものの、これまで非常に速いスピードで経済成長を続けてきた中国市場において、高品質と安定した価格による対面販売の徹底に加え、消費者のEコマースへの購買シフト対応にも力を入れることでさらなる事業拡大を進めていきます。



シンガポール事業



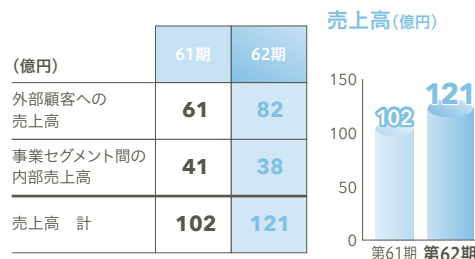
◆ベビー、ママ関連用品

展開エリア

シンガポール、インド、インドネシア、他のASEAN諸国、中近東諸国、オセアニア 他

●事業環境と当社の強み

世界では毎年1億3,500万人の新生児が誕生しており、潜在需要は非常に大きく、大きな成長余力があります。なかでも年間出生数が約2,600万人のインド、約500万人のインドネシアはピジョンにとって重点市場と位置づけ、事業の拡大を図っています。インドにおいては、2015年から現地工場で哺乳器・乳首の生産を開始し、他国向けの製造や日本向けの輸出も行っています。さらに、2017年11月には、インドネシアの持分法適用関連会社を連結子会社化するなど、さらなる成長に向けて、新規市場(アフリカ等)への進出も進めていきます。



ランシノ事業



◆ベビー、ママ関連用品

展開エリア

北米…アメリカ、カナダ 他 欧州…イギリス、ドイツ、ベルギー 他
その他…中国(ランシノ上海)、トルコ、中南米 他

●事業環境と当社の強み

ピジョンでは、2004年に子会社化した米 LANSINOH LABORATORIES, INC. (「ランシノ社」)のブランドを軸に、北米ならびにイギリス・ドイツ等欧州への事業拡大を進め、さらに、2016年にはランシノ上海を設立し、中国での事業拡大も進めています。主力である乳首ケアクリームや母乳パッド、さく乳器や母乳保存バッグ等に加え、2014年からは哺乳器の本格的な販売を開始するなど、商品カテゴリーの拡充を図りながら、ブランド強化を進めていきます。



※数値は、原則として各欄ごとに単位未満を切り捨てています。



ところ変われば育児も変わる。



世界各国の育児事情 vol.10

ASEAN、中東、オセアニア

働くママの頼みの綱「ナニー」

シンガポール事業本部が管轄する東南アジア、中東、オセアニアまでの幅広い地域では、ママの育児を支える存在として、「ナニー」の存在が欠かせません。オセアニアではオペアと呼ばれるなど、その呼称は国・地域によって異なりますが、「ナニー」はもともイギリスで発展した職業で、母親に代わって育児を行うプロフェッショナルのことを言います。一時的な保育を行うベビーシッターに比べて、子どもの教育にまで踏み込んだ形で継続的に関わっていく点が大きな特徴です。シンガポール、マレーシア、ベトナムなど、この地域の大都市では共働き比率が7割前後であることや、インドやタイ、インドネシアなどを中心に家政婦等を雇用する文化が根づいていることなどが、「ナニー」普及の社会的背景となっているようです。

産後ケア専門ナニーや、空飛ぶナニーまで

世界各地ではこのナニー職にもいろいろな広がりがあります。例えばシンガポールには、産後ケア専門の「コンファインメントナニー」という職があり、政府認定の派遣エージェントも多数あります。コンファインメントナニーは、新生児ケアと産後の母体回復を第一に、赤ちゃんの沐浴や夜中のおむつ替えはもちろん、漢方ベースの料理や掃除、洗濯といった家事全般を住み込みで行います。またアラブ首長国連邦(UAE)では、子どものお世話や教育、食事面への配慮などに優れたナニーを「ベストナニー賞」として表彰する取り組みがあり、業界や職業の質的向上に寄与しています。ちなみに2018年の受賞者はフィリピン人ナニーでした。UAEにはまた、機内での赤ちゃんのお世話や子どもとゲームなどで遊ぶ「フライング・ナニー」が搭乗する航空会社もあります。



世界のピジョンからこんにちは！



中間層向けの商品開発を拡大し、さらなる成長を目指す

シンガポール事業本部が統括する地域は、東南アジア、オセアニア、インド、中東、アフリカと、新興国が中心になっています。ピジョングループが展開している他の地域や国々に比べても所得水準が低い国が多く、また民族・言語・宗教・文化も多様であることから、それぞれの地域で消費者理解を深め、スピーディにそのニーズへに対応していくことが重要だと考えています。

現在展開している事業エリアにおける富裕層の年間出生数は約167万人ですが、10年後には283万人と1.7倍になると予測されています。また経済成長に伴って中間層（年間可処分所得水準が5,000～35,000米ドル）も拡大しており、上位中間層（所得水準が同12,000米ドル以上）まで含めた当社のターゲット層はさらに拡大する見通しです。

1974年頃から進出している東南アジアでは、すでに顧客認知が進んでおり、インドネシア、シンガポール、タイ、ベトナムでは、ピジョンは哺乳器のトップシェアブランドになっています。中近東においても、サウジアラビアやアラブ首長国連邦などで、哺乳器・乳首を中心に販売を伸ばしています。

一般に、名目GDPが3,000米ドルを超えるとその国・地域の消費活動が活発化し、市場の拡大が期待できるとされています。今後当社では、中間層向け商品を各カテゴリで開発・市場投入していくことで、さらなる成長を目指していきます。また、これら商品を水平展開・応用することで、長期的に開拓を目指すアフリカ市場への足掛かりにもしていく考えです。

上級執行役員

シンガポール事業本部長 兼

PIGEON SINGAPORE PTE. LTD.

代表取締役社長

仲田祐介



シンガポール事業本部

ASEAN・中東諸国・インド・オセアニアを中心にピジョンブランド事業を展開しています。

【シンガポール事業本部を担うグループ】

PIGEON SINGAPORE PTE. LTD.(シンガポール)

PIGEON MALAYSIA (TRADING) SDN. BHD.(マレーシア)

PIGEON INDIA PVT. LTD.(インド)

PIGEON INDUSTRIES (Thailand) CO., LTD.(タイ)

THAI PIGEON CO., LTD.(タイ)

PT PIGEON INDONESIA(インドネシア)

当期の経営成果

売上高は、国内ベビー・ママ事業、シンガポール事業の販売は好調に推移したものの、中国事業、ランシノ事業での伸長がやや鈍化したこともあり、1,047億47百万円(前期比2.1%増)となりました。利益面においては、売上原価率が前期比で約2.1ポイント改善したことなどで、営業利益が196億12百万円(同1.0%増)、経常利益は203億98百万円(同1.3%増)と増加しました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に特別利益を計上した影響もあり142億38百万円(同1.9%減)となりました。

国内ベビー・ママ事業

売上高は355億93百万円(前期比5.2%増)、セグメント利益は60億96百万円(同2.8%増)となりました。訪日外国人等によるインバウンド需要が続く中、新商品として昨年2月にデリケートな赤ちゃんのお肌にもやさしい「ピジョン薬用全身泡ソープ(ものの葉)」¹⁾、3月には対面走行時の押しやすさが進化した新しいベビーカー「Runfee(ランフィ)」²⁾を発売、7月には60年以上にわたる哺乳研究から生まれた“赤ちゃんこちリズム”³⁾を搭載したさく乳器「母乳アシスト®」シリーズを全面リニューアル、8月には耳鼻咽喉科医と共同開発した「ピジョン 電動鼻吸い器」を発売するなど、順調に売上および市場シェアを拡大しました。また、ダイレクト・コミュニケーションの一環であるイベントとして、出産前の方を対象とした「プレマクラス」、母子に寄り添う子育て中の母乳育児をテーマとした医療従事者向けのピジョンセミナーなどを当期において31回開催し、合計で約3,100名の方にご参加いただきました。妊娠・出産・育児シーンの女性を応援するサイト「ピジョンインフォ」においても、商品の更新はもちろん、5月にオープンした医療従事者向けのウェブサイトを通して、医療従事者との取り組みを強化するなど、お客様がさらに使いやすくなるよう改善を進めています。

子育て支援事業

売上高は44億72百万円(前期比40.7%減)、セグメント利益は1億69百万円(同22.7%減)となりました。2018年3月をもって独立行政法人国立病院機構における院内保育の一括受託契約が終了となりましたが、当期において事業所内保育施設は5箇所の新規受託を開始し、計76箇所にサービスを展開しています。

ヘルスケア・介護事業

売上高は69億86百万円(前期比1.0%減)、セグメント利益は3億53百万円(同24.5%減)となりました。昨年10月に開催された国際福祉機器展で展示した本年発売予定の新商品がお客様や流通各社よりご好評をいただいております。小売店および介護施設への営業活動のさらなる強化、介護サービスの品質向上などの施策実行を徹底しています。

中国事業

売上高は、主力商品の哺乳器・乳首、スキンケア商品の販売が好調に推移し、355億81百万円(前期比3.7%増)、セグメント利益は119億72百万円(同4.0%増)となりました。特に「薬用スキンケア(ものの葉)シリーズ」や哺乳びん「my Precious」の販売が引き続き好調に推移しており、下期に発売したハンドル付き哺乳器やスチーム消毒器も好評を得ています。ますます拡大するEコマースへの取り組み強化と、SNSやインフルエンサーを活用した直接的な消費者とのコミュニケーションの活性化、また店頭販促や病産院活動等のオフライン活動の強化も引き続き実施し、お客様との接点を増やし、事業拡大に向けた取り組みを進めています。

シンガポール事業

売上高は121億33百万円(前期比18.0%増)となり、セグメント利益は売上総利益率の改善に加え、販管費の効果的な使用もあり、27億44百万円(同10.3%増)となりました。インドネシア等のASEAN地域や中東諸国において、哺乳器・乳首を中心に順調に売上を拡大しており、当社ブランドの市場浸透を目指して積極的な営業・マーケティング活動を展開しています。

ランシノ事業

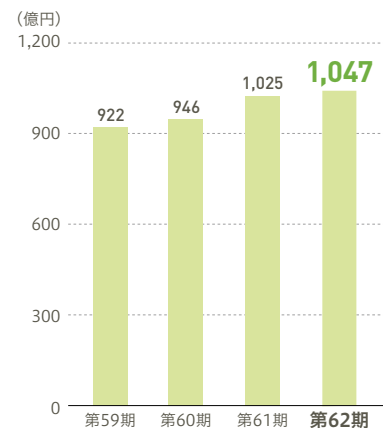
売上高は127億53百万円(前期比1.8%増)、セグメント利益は15億76百万円(同1.5%増)となりました。北米ではDME(耐久性医療機器)チャネルや病産院等の新規ルートでのさく乳器等の売上が拡大しています。また、北米のみならず、ヨーロッパやランシノ上海でもさらなる事業拡大に向け、マーケティングの強化、ブランド強化等の取り組みを進めています。

その他

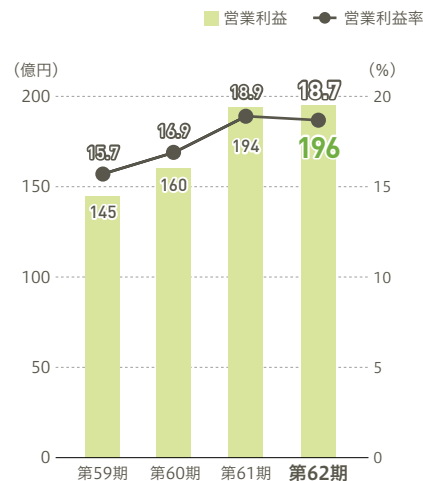
売上高は14億2百万円(前期比8.8%増)、セグメント利益は1億42百万円(同12.8%増)となりました。

主な経営指標

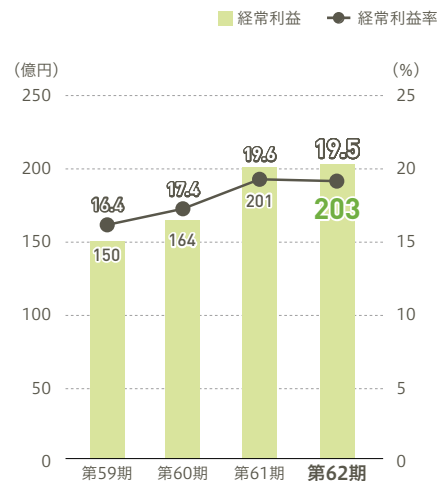
売上高



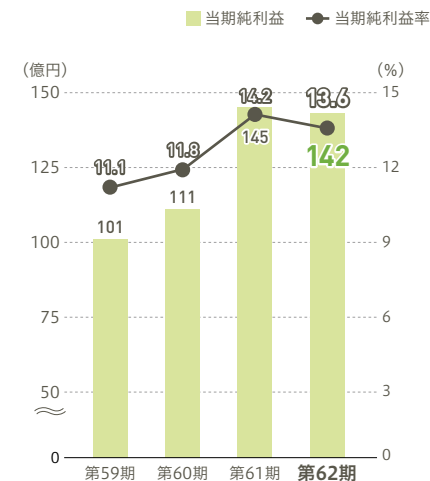
営業利益 / 営業利益率



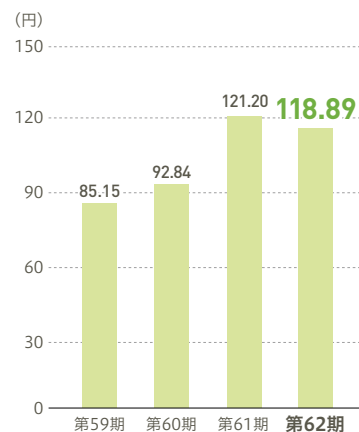
経常利益 / 経常利益率



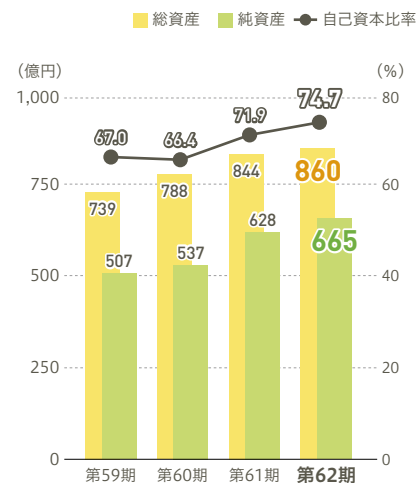
親会社株主に帰属する当期純利益 / 当期純利益率



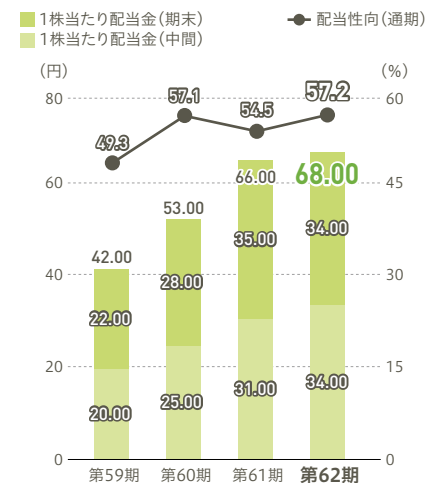
1株当たり当期純利益 (EPS)



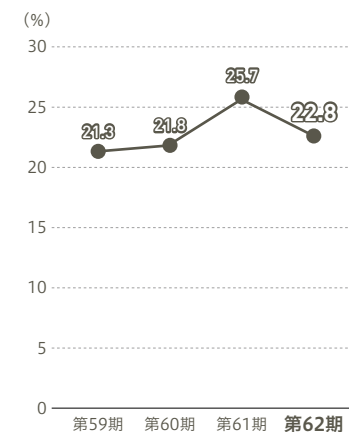
総資産 / 純資産 / 自己資本比率



1株当たり配当金 / 配当性向



自己資本当期純利益率 (ROE)



● 2018年度「IR優良企業賞」を受賞

2018年11月、ピジョンは、一般社団法人日本IR協議会の主催する2018年度「IR優良企業賞」を受賞しました。本賞は、IRの趣旨を深く理解し、積極的に関わり、市場関係者の高い支持を得るなどの優れた成果を上げた企業を表彰するもので、ピジョンは、「経営トップの企業価値向上意識が高く、定期的に投資家と対話している。投資家の関心が高い中国や米国などの海外事業部門トップも説明会に出席するなど意見交換の機会が広がっている。資本コストを意識した『PVA』に基づく分解ツリーの開示など特徴のある取り組みが経営への信頼感を高めている。IR部門は研究所見学や工場見学、経営層とのスモールミーティングなどを設定し、投資家の要望に添えている」点が評価されました。



● Forbes JAPAN WOMEN AWARDで多様性推進賞・準グランプリを受賞

2018年10月、ピジョンは、Forbes JAPAN WOMEN AWARDの多様性推進賞・準グランプリを受賞しました。本アワードは、“働きやすさ”ではなく“真の女性活躍”を目指し、最も輝く女性・最も女性が活躍する会社を選ぶ、国内最大規模の女性アワードです。ピジョンは、ダイバーシティ推進における研修などの取り組みが評価され、多様性推進賞の準グランプリを受賞したほか、管理職の女性比率や女性役員数などの定量評価に加え女性活躍推進のための取り組みを定性評価して総合得点化する企業賞においても、社員数300名～1,000名規模の企業の中で第2位に選出されました。



● ピジョンタヒラ、「第45回国際福祉機器展H.C.R.2018」に出展

2018年10月、ピジョンタヒラは「第45回国際福祉機器展H.C.R.2018」に出展。今回は新商品に的を絞り、「プロフィットケア」シリーズをはじめ、「看護から生まれた清潔ケアシリーズ」や「ロックアシスタII」、「ラッピーカート3」、「ユニットケアポーター」、「おしり洗浄・保湿液」を展示しました。プロフィットケアシリーズのプレゼンテーションには多くのご来場者が集まり、予定時間を超えるほどのご質問やお問い合わせをいただいたほか、おむつ交換に必要なものをひとまとめにできるカート「ユニットケアポーター」にも、ご来場者の反応がよく、多くの関心が集まり大盛況となりました。



Corporate Profile

会社概要（平成31年1月31日現在）

設立年月日	昭和32年8月15日
事業内容	育児・マタニティ・女性ケア・ホームヘルスケア・介護用品等の製造、販売および輸出入ならびに保育事業
資本金	5,199,597千円
従業員数	本社359名 連結3,875名
本社	〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町4番4号 TEL 03-3661-4200（代表）

役員（平成31年4月25日現在）

取締役最高顧問	仲田 洋一
代表取締役会長兼取締役会議長	山下 茂
代表取締役社長	北澤 憲政
取締役専務執行役員	日本事業統括責任者（ヘルスケア・介護事業本部長） 兼人事総務本部兼国内ベビー・ママ事業本部兼ヘルスケア・ 介護事業本部兼子育て支援事業本部兼ロジスティクス本部担当 赤松 栄治
取締役常務執行役員	グローバルヘッドオフィス責任者 （経営戦略本部兼経理財務本部 兼監査室担当） 板倉 正
取締役常務執行役員	日本事業副責任者 （開発本部兼品質管理本部 兼お客様コミュニケーション本部担当） 倉知 康典
取締役上席執行役員	ランシノ事業本部長 兼LANSIH LABORATORIES, INC.代表取締役社長 Kevin Vyse-Peacock
取締役（社外）	新田 孝之
取締役（社外）	鳩山 玲人
取締役（社外）	岡田 英理香
常勤監査役	甘利 和久
常勤監査役	橋本 伸行
監査役（社外）	大津 広一
監査役（社外）	太子堂 厚子
上級執行役員	（中国事業本部長兼PIGEON (SHANGHAI) CO., LTD.代表取締役） 矢野 亮
上級執行役員	（シンガポール事業本部長 兼PIGEON SINGAPORE PTE. LTD.代表取締役社長） 仲田 祐介
執行役員（経営戦略本部長）	松永 勉
執行役員（経理財務本部長）	牧 裕康
執行役員（人事総務本部長）	石上 光志
執行役員（お客様コミュニケーション本部長）	小原 裕子
執行役員（開発本部長）	筒井 克志
執行役員（品質管理本部長）	田島 和幸
執行役員（国内ベビー・ママ事業本部長）	浦狩 高年
執行役員（子育て支援事業本部長兼ビジョンハーツ㈱代表取締役社長）	鶴 孝則
執行役員（ロジスティクス本部長）	西本 浩
執行役員（PIGEON MANUFACTURING (SHANGHAI) CO., LTD.代表取締役）	賀来 健
執行役員（ランシノ事業本部副本部長兼LANSIH LABORATORIES, INC.取締役）	松島 浩司

主要事業所（平成31年1月31日現在）

事業所	茨城県稲敷郡阿見町
物流センター	茨城県常陸太田市 兵庫県神崎郡神河町
研究所	茨城県つくばみらい市
営業拠点	札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡

次の21社を連結の対象にしています。

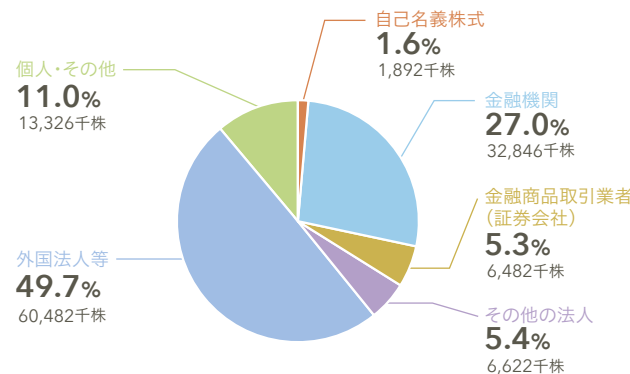
- ◆ ビジョンホームプロダクツ(株)
- ◆ ビジョンハーツ(株)
- ◆ PHP兵庫(株)
- ◆ PHP茨城(株)
- ◆ ビジョンタヒラ(株)
- ◆ ビジョン真中(株)
- ◆ PIGEON SINGAPORE PTE. LTD.
- ◆ PIGEON MALAYSIA (TRADING) SDN. BHD.
- ◆ PT PIGEON INDONESIA
- ◆ PIGEON (SHANGHAI) CO., LTD.
- ◆ PIGEON MANUFACTURING (SHANGHAI) CO., LTD.
- ◆ PIGEON INDUSTRIES (CHANGZHOU) CO., LTD.
- ◆ LANSINOH LABORATORIES, INC.
- ◆ LANSINOH LABORATORIES MEDICAL DEVICES DESIGN INDUSTRY AND COMMERCE LTD. CO.
- ◆ LANSINOH LABORATÓRIOS DO BRASIL LTDA.
- ◆ LANSINOH LABORATORIES BENELUX
- ◆ LANSINOH LABORATORIES SHANGHAI
- ◆ DOUBLEHEART CO. LTD.
- ◆ PIGEON INDIA PVT. LTD.
- ◆ PIGEON INDUSTRIES (THAILAND) CO., LTD.
- ◆ THAI PIGEON CO., LTD.

株式の状況（平成31年1月31日現在）

発行可能株式総数	360,000,000株	
発行済株式の総数	121,653,486株	
株主数	13,624名	
自己株式	1,892,704株	
大株主（上位10名）	持株数 （千株）	持株比率 （%）
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	6,213	5.19
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	4,679	3.90
SMBC日興証券株式会社	4,145	3.46
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	3,710	3.09
BBH FOR MATTHEWS ASIA DIVIDEND FUND	3,077	2.57
ワイ.エヌ株式会社	3,000	2.50
BNYMSANV RE MIL RE FSI ICVC-STEWART INV ASIA PACIFIC LEADERS FD	2,977	2.48
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口5）	2,371	1.98
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	2,240	1.87
日本証券金融株式会社	2,152	1.79

※持株比率は自己株式（1,892,704株）を控除して計算しています。

株式分布状況（所有者別：千株）



株主メモ

証券コード	7956
事業年度	1月1日から12月31日まで (第63期は2月1日から12月31日までの11カ月)
定時株主総会	毎年3月
期末配当金受領株主確定日	12月31日
中間配当金受領株主確定日	6月30日(第63期は7月31日)
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同事務連絡先 (お問合せ先郵便物送付先)	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料 平日9:00~17:00) ホームページ https://www.tr.mufig.jp/daikou/
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告 https://www.pigeon.co.jp/ ただし、やむを得ない事由により、電子公告によること ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

ご案内

株式に関する住所変更等のお問合せおよびお届出について

株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

特別口座について

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行各支店でもお取り扱いいたします。

未受領の配当金について

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行各支店でお支払いいたします。

インターネットホームページでもIR情報を掲載しています。

ビジョントップページ <https://www.pigeon.co.jp/>
IR情報トップページ <https://www.pigeon.co.jp/ir/index.html>

「母乳実感®哺乳びん my Precious」 新デザイン登場

2017年グッドデザイン賞を受賞した哺乳びん「母乳実感®哺乳びん my Precious」に、2018年11月より、さらに明るく楽しかった新デザインが登場。『お祝い』と『トラベル』をテーマに、「パーティー」「ギフト」「ハワイ」「パリ」の4種類で、それぞれ80mlと160mlの2サイズをご用意しました。長年の哺乳研究に基づいて作られたロングセラー商品「母乳実感®」の機能はそのままに、美しいフォルムとかわいらしいデザインで、出産祝いの贈り物にもおすすめです。



介護施設利用者の座位姿勢保持を重視した 「プロフィットケア」シリーズ新登場

2019年2月より、介護施設利用者の座位姿勢保持のための工夫を盛り込んだ新シリーズ「プロフィットケア」をピジョンタヒラから順次発売。新シリーズの商品は、座位保持自走型車いす「ラクリオ PR-1000」、座位保持ティルトリクライニング車いす「ラクレストPR-2000」、背中・おしりがズレない車いす「フルリクライニングキャリアFC-120」、4人用の個別昇降テーブル「ここあPR-T4」の4商品。本シリーズでは、正しい姿勢で座ることで自立を促し、施設利用者の快適な生活と介護スタッフの負担軽減の実現を図ります。



「ももの葉スキンケア」シリーズから 2つの商品が新発売

デリケートな赤ちゃんのお肌の肌あれを防ぐ、大人気の「ももの葉スキンケア」シリーズから二つの商品を新発売。保湿成分ももの葉エキス配合で、お肌に直接塗れるロールオンタイプの日焼け止め「ピジョン UV ベビーローション ももの葉」と、汗やお肌の汚れをふきとり保湿する「ピジョン薬用あせもシート ももの葉」を、2019年2月より全国で販売開始しています。



コーポレートサイトもご覧ください。

業績、財務、株式情報等を拡充し、さらに見やすくなったサイトをぜひご利用ください。



<https://www.pigeon.co.jp/>

表紙の絵について

当社は、未来の科学の夢絵画展「幼稚園・保育園の部」の発明協会会長賞ならびに優秀賞を受賞された幼稚園・保育園に対して、当社創業者の故仲田祐一が幼児の創造性育成のために公益社団法人発明協会へ寄贈した基金により「仲田祐一奨励金」を毎年協会を通して贈呈しております。表紙の絵は同協会のご協力を得て掲載しているものです。

『気持ちわかるカメラ』 めばえ幼稚園（広島県） 田房 殊明さん

赤ちゃんの妹が今何を考えているのかな？早く話したいなあといつも思うので、写真に撮って気持ちがわかるカメラがあると良いなと思い、考えました。



この報告書は環境保全のため、環境に優しい植物油インキを使用して印刷するとともに、針金を使わないエコ製本を採用しています。

